

在ナイジェリア大使館からの注意喚起

(感染症：コレラの発生と拡大)

- 雨期に入り、ナイジェリア各地でコレラが発生し、感染エリアが拡大しています。今後コレラの発生が在留邦人居住地域に拡大する恐れもありますので、以降の情報への注意が必要です。
- コレラは、ヒトの排泄物からコレラ菌が入る、経口感染症です。水や食事の十分な加熱処理をこころがけるとともに、手洗いを励行してください。

在留邦人などの皆様へ

2018 年 6 月 6 日

在ナイジェリア日本大使館

1. コレラの発生状況

5 月の NCDC (Nigeria Center for Disease Control. 国立疾病管理センター) の Weekly Epidemiological Report によりますと、FCT (注: Federal Capital Territory. 首都アブジャを含めた「連邦首都地区」) を含む国内 17 州においてコレラの発生が見られ、本年 5 月までの時点で疑い例含め患者数 4,635 名、うち死亡者数 59 名 (※死亡率 1.27%) が報告されています。患者の発生は今のところ Bauchi 州に集中しており、まだ少数ですが FCT でも発生が見られます。ラゴスでは現在のところ発生の報告はありません。

2. コレラについて

(1) 感染源

コレラはヒトの排泄物からのコレラ菌による経口感染症です。そのため、水や食事に対する注意が必要です。

(2) 症状

潜伏期間は数時間のこともあります。症状は重度の下痢です。(「米のとぎ汁のような」便と表現されます。) 腹痛・発熱はなく、むしろ低体温になるとされています。急速に脱水症状をおこし、放置するとショックを生じます。

(3) 治療

下痢による脱水が致命的となりますので、十分な補水、輸液が必要となります。治療薬としてはテトラサイクリン系抗生物質が効果があります。

(4) 予防

ア 予防接種

日本で認可されている注射ワクチンは効果が期待できません。経口ワクチンは効果があるとされています。

イ 感染予防

経口感染ですので、水・食事は加熱処理をしっかりとするなど、十分に注意してください。

(了)